

岐阜日赤NEWS

No.
79
2026.8



緊急手術 がんばってます!



岐阜赤十字病院

岐阜県岐阜市岩倉町3丁目36番地
電話 058-231-2266

Mission statement 日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

病院の理念

人道・博愛の赤十字精神のもとに、
人々の健康の回復や維持に寄与し、
地域や社会に貢献します。

病院の行動指針

1. 私たちは、安全で安心な医療を提供します。
S (Safety)
2. 私たちは、心のこもった態度でのぞみます。
H (Hospitality)
3. 私たちは、互いに敬意の念をあらわします。
R (Respect)

特集/急性胆嚢炎

—当科の現状とこれから—

チーム医療/認知症サポートチーム
身体拘束最小化チーム

医師紹介

- 紹介予約担当医師一覧表
- お知らせ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

岐阜赤十字病院

〒502-8511 岐阜市岩倉町3丁目36番地
TEL. 058-231-2266 (代表)
<https://www.gifu-med.jrc.or.jp>



ホームページ



Instagram

「―TG18新基準掲載―急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2018」(Tokyo guidelines 2018;TG18)が発刊後、急性胆嚢炎の治療方針は、臨床医にとって非常にわかりやすいものになりました。

「TG18」では急性胆嚢炎と診断された症例に対し、重症度、全身状態を判定して、耐術能が許せば、急性胆嚢炎に対しては、**早期腹腔鏡下胆嚢摘出術**が基本的方針とされています。当科でもガイドラインを遵守し、急性胆嚢炎に対し、早期腹腔鏡下胆嚢摘出を施行してきました。(図1)



以前より待機胆嚢摘出術症例に比べ、緊急胆嚢摘出術症例が高齢でした。(図2)
2025年には緊急胆嚢摘出術症例のうち、81歳以上の占める割合が50%を超えました。(図3)

そこで80歳以下、81歳以上で2025年の手術、治療成績を比較すると、在院日数が長い傾向でしたが、合併症の発生はおおむね許容範囲でした。(図4)

当科としては、高齢であっても、全身状態を十分に検討し、患者さま、ご家族に十分な説明のうえで、耐術可能であれば、最も治療効果が高い、早期腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行していきたいと考えています。



また、消化器内科とも急性胆嚢炎に対する受け入れ体制を見直し、急性胆嚢炎が疑われた場合の初期対応を外科が担当させていただくこととしました。これにより、より早期にスムーズに早期胆嚢摘出術が施行することが可能になると思います。もちろん、耐術不可能と判断した場合は緊急/早期胆嚢ドレナージが必要であることもあるため消化器内科と連携して対応させていただきます。

“右下腹部痛-虫垂炎”とならんで“**右季肋部痛-胆嚢炎**”で外科受診のほどよろしくをお願いします。

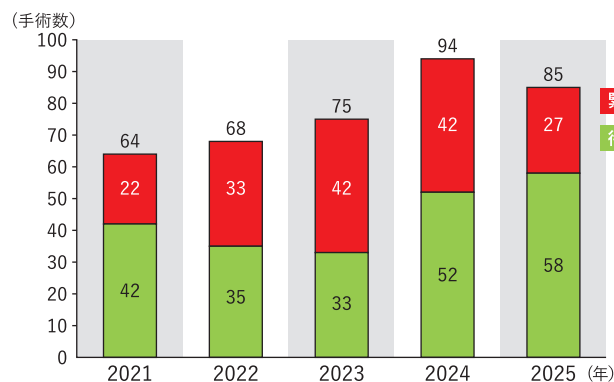


図1 胆嚢摘出手術の推移

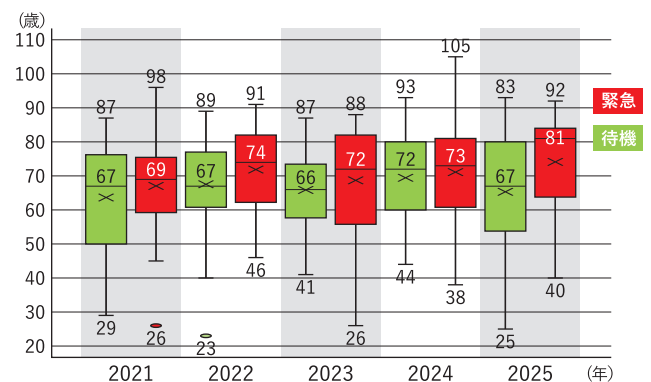


図2 待機/緊急胆嚢摘出術 年齢の推移

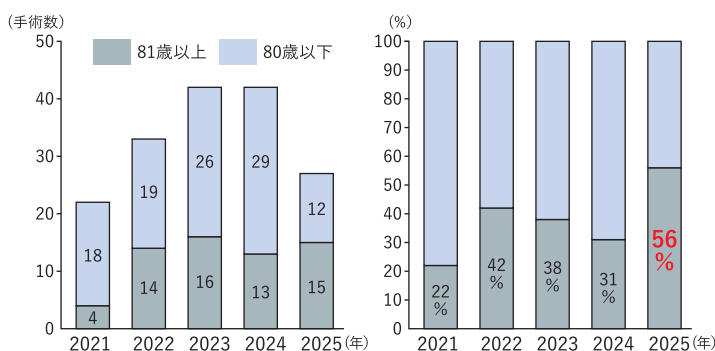
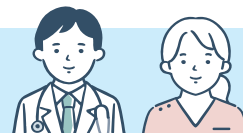


図3 緊急胆嚢摘出術 81歳以上の占める割合

		80歳以下	81歳以上
重症度	Grade I	10	10
	Grade II	1	4
	Grade III	1	0
アプローチ	腹腔鏡	12	11
	腹腔鏡→開腹	0	2
	開腹	0	1
手術時間 (分)		92(51-130)	105(68-157)
出血量 (g)		4(0-140)	5(1-250)
術後在院日数 (日)		5(4-11)	8(4-24)
合併症	CD3a	0	1
	CD2	0	1

図4 2025年緊急胆嚢摘出術 80歳以下/81歳以上の治療成績



認知症サポートチーム(DST)とは

病院に入院される方は、心身の衰弱や苦痛に加え、治療や検査により様々な制限を強いられ、住み慣れた環境から離れて過ごすこととなります。認知症の方においては、こうした環境の変化がせん妄やBPSDの出現につながりやすくなります。

DSTでは医師・看護師・薬剤師・作業療法士・医療ソーシャルワーカーの専門スタッフが連携し、せん妄やBPSDの発症予防に努めています。また、言葉でのコミュニケーションが難しい認知症の方をよく観察し、表情やしぐさから言葉以外の意思を汲み取ることや、その方のもてる力を引き出すためのケアも大切にしています。認知症の方とご家族が少しでも安心し、治療を受けられるようにケアを提供しています。

主な活動

- チーム登録患者様、ご家族様のケアや相談、支援
- 週1回の定期ラウンド
- スタッフに対する院内研修、病棟ごとの研修
- チーム会議



身体拘束最小化チームとは

身体拘束とは、衣類または布製のミトンなどの道具・薬剤等を使用して身体を拘束して、動きを抑制することをいいます。身体拘束はその人の尊厳や権利を奪う行為です。実施することにより、筋力の低下や意欲の低下といった弊害が発生し、それを目にするご家族にも精神的苦痛を及ぼし、多くの不利益が生じます。

当院は、身体拘束最小化のための指針を定め、その中で「身体拘束を実施しない」ことを原則として、身体拘束をしない医療や看護を実現することを目的にチームで活動しています。やむを得ず身体拘束を実施しなければならない場合は、期間や悪影響を最小限に止め、患者様に安全安心な入院生活を送って頂けるよう、他職種・病棟スタッフと連携して活動を行っています。

主な活動

- 身体拘束をしないための風土の醸成
- 身体拘束具の管理、使用者の把握
- 身体拘束実施患者のラウンド
- 身体拘束実施時の代替法、ケアの提案



かわで まさふみ

川出 真史

消化器内科医師

精一杯がんばります。よろしく願いいたします。

なみ き さなえ

並木 早苗

泌尿器科医師

地域の皆さまに貢献できるよう、精一杯頑張ってます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

岐阜赤十字病院 紹介予約担当医師一覧表

こちらは紹介状をお持ちの方専用です。

地域医療連携センター（直通TEL）058-296-5550 / 058-296-5551（直通FAX）058-231-3026

予約受付時間 平日 9:00～19:00 土曜日 9:00～12:30

2026年7月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	森 建次	川出 真史	荒尾 真道	担当医	寺倉 大志
血液内科		澤田 道夫			
循環器内科	長島 賢司		八巻 隆彦	長島 賢司	高井 瑞貴
呼吸器内科	※現在、診療を制限させていただいております。（緊急時要相談）				
甲状腺・糖尿病内科	石森 正敏	増田 輝幸		PM 中村重徳（甲状腺） （完全予約制）	石森 正敏
	PM 伊佐治 真子	中村 重徳 （甲状腺）			
脳神経内科（完全予約制）		PM 宇佐美 要			PM 大野 陽哉
一般内科・リウマチ科	加藤 あや香				臼井 太郎
腎臓内科（完全予約制）					泉 久美子
外科、大腸肛門科	木山 茂	關野 誠史郎	木山 茂	担当医	關野 誠史郎
整形外科（完全予約制）	槇 利衣	野々村 秀彦 （手外科のみ）	佐竹 崇志 （手外科・骨粗鬆症）	松山 こころ	高木 藍那
眼科（完全予約制） ※1 不在の場合もありますので ご了承ください。	竹内 和徳	吉田 則彦 ※1	志賀 優	吉田 則彦 ※1	岡村 周子
		志賀 優		志賀 優	竹内 和徳 ※1
		PM 岡村 周子	PM 吉田 則彦 ※1	PM 岡村 周子	PM 小島 隆司 ※1
		PM 小島 隆司 ※1	PM 大鹿 太郎 ※1		PM 澤木 綾子 ※1
耳鼻咽喉科	小塩 勝博	小塩 勝博	小塩 勝博	小塩 勝博	小塩 勝博
	PM 非常勤医師 （完全予約制）				
泌尿器科	加藤 大貴	三輪 好生	中井 千愛	三輪 好生 第1・2・3・5	加藤 大貴 第2・4
	菊地 萌未	中井 千愛	非常勤医師	加藤 大貴 第1・5	菊地 萌未 第1・3・5
				菊地 美奈 第4	並木 早苗
				菊地 萌未 第2・3	
ウロギネセンター （完全予約制）	PM 加藤 大貴 第1・3	菊地 萌未		菊地 萌未 第1・4・5	三輪 好生 第1・3・4・5
		PM 三輪 好生 第1・2・3・5		中井 千愛 第2	
		PM 菊地 萌未 第4			
皮膚科	脇田 智子	脇田 智子	脇田 智子	脇田 智子	脇田 智子
脳神経外科	大江 直行	荒木 有三 （完全予約制）	榎本 由貴子	荒木 有三	荒木 有三
産婦人科（完全予約制）	永原 健児	永原 健児	永原 健児	永原 健児	永原 健児
放射線科（完全予約制）	AM/PM	AM/PM		PM	AM

診療時間は原則9:00～11:00までとなっております。予約が取れない場合、11:00までに来院していただければ予約外で受診可能です。但し、一部完全予約制の診療科がございます。また、休診の場合もありますので、お問い合わせいただくかホームページでご確認をお願いいたします。

各種指定・認定

地域医療支援病院
紹介受診重点医療機関
岐阜県地域災害拠点病院
岐阜県第1種感染症指定医療機関
岐阜県第2種感染症指定医療機関
岐阜県救急医療施設告示病院
岐阜市病院群輪番制指定病院
臨床研修病院
病院機能評価 3rdG:Ver.2.0
臨床研修評価

お知らせ

MRI予約申込手続きにかかる手順変更のお知らせ

紹介および共同利用におけるMRI検査予約につきまして、申込にかかる手順を変更させていただきましたこととなりました。お手数おかけしますが、何卒ご理解ご協力賜りますようお願いいたします。

変更内容

予約申込の際に、患者さまから聞き取りした『MRIチェックリスト（医療機関用）』を『予約申込票』と一緒にFAXにて送信ください。

変更日

令和8年9月1日

備考

各種様式をホームページに掲載しますので、ダウンロードしてご活用ください。詳細はホームページにてご確認ください。

